＜2008年(平成20年)4月15日発行　第20号＞

ふくろう新聞

＜発　行＞
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町
中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

今春もふくろうにだんじりがきました。施設開所より3年目になります。また、今年も新しい職員が入りました。中国の食材により脅かされた食の問題、その他私たちを取り巻く諸問題について、入所者さんの豊かな生活を築くために、職員一丸となり取り組みたいと思います。

中川原春のだんじりまつり

↑　今年もみんなで集合写真を撮りました！

4月6日(日)、毎年恒例の中川原春のだんじりまつりがありました。

今年もふくろうまでだんじりを曳いて下さいました。

2日前までは雨の予報だったのですが、当日は快晴にめぐまれ、まぶしいほどの陽気に、入所者・職員とも、あわててタオルを頭にのせていました。

↑　だんじりをバックに迫力ある獅子舞の舞い

春のだんじり・獅子舞は中川原地域の伝統あるおまつりですが、最近は曳き手も少なくなっているとのことです。

地域の方々にはいつもお世話になっていますが、ふくろうからも地域の伝統を守るお手伝いをしたいものです。

↑　獅子舞に見入る入所者たち

淡路ふくろうの郷 地域交流会総会開催

4月13日、淡路ふくろうの郷地域交流会の総会を開催しました。

昨年1月に発足して以来、1年間の事業報告があり、今年度は新たに4人の方が地域交流会会員に入っていただけました。理事長に代わり施設長より委嘱状を交付しました。

平成20年度の事業計画についての検討がされました。（4面の【地域福祉として・・・】②に掲載）

総会は順調に終わり、お昼ご飯には、腕をふるった旬のたけのこ料理を味わっていただきました。

今年度もふくろうの郷へのご支援、よろしくお願いします。

入所者紹介

新居花子さん・文男さん親子をご紹介します。

淡路ふくろうの郷へ入所される前はもう1人おられる息子さんと3人でくらしていましたが、在宅での生活が困難となり、お母さんの花子さんがふくろうへ入所することとなりました。

文男さんは65歳未満の2号被保険者になります。特定の疾病があり、ふくろうに入所し、再び親子一緒に暮らすようになりました。

花子さんは一見、落ち着いた雰囲気ですが、お茶目なところがあります。

突然、紙にカタカナで「ニイハナコデス　オスシ　トアンパン　カツテキテクダサイ」とお願いを書いて職員に渡しに来られます。

書道講座ではお手本があるにもかかわらず違う文章を書かれて、隣で書いていた息子さんにツッコミをいれられたりするそうです。

文男さんと花子さんは隣り合わせのユニットで生活しており、時々花子さんが文男さんの様子を見にこられたりします。一緒にテレビを観ていたり、仲の良い親子です。

ユニット内でのレクリエーションにも親子で積極的に参加されています。

（介護：原田）

退所の方

徳野　茂さん

平成20年2月19日退所

病院へ長期入院となり、退所しました。

はじめまして

新しく入所されました。

平成20年2月20日入所

今川　エイさん

4月　おたん生日おめでとう

■とてもテレやさんです。

芝田　昭　さん(73)

昭和10年4月2日

■。

山口　宏子　さん(63)

昭和20年4月8日

■がんばってリハビリ中。

安井　信重　さん(84)

大正13年4月10日

■習字も得意。

宮内　武友　さん(78)

昭和5年4月17日

■車イスで縦横無尽の動き

笠木　博　さん(80)

昭和3年4月24日

■微笑がかわいい。

森　敦子　さん(82)

大正15年4月26日

～春のおでかけ～　・イングランドの丘　お花見

○イングランドの丘

3月25日（火）星海ユニットでイングランドの丘に外出しました。

当日は見事に晴れ渡り、春の陽気に包まれました。

まず、パンとバター作りをしました。パンはそれぞれ思い思いの形に作りました。バター作りでは生クリームの入った容器を一生懸命振り続けていると固まってバターになっていく様子に驚かれていました。

昼食を食べ、午後からは動物の見学をしました。

コアラなど初めて目にする動物たちを、終始不思議な顔で眺められていました。

帰る前にはそれぞれにお土産も購入され、この日は入所者の方々にとって初めての経験も多く、笑顔ですごせていただきました。

今後も入所者の声に耳を傾け、多くの楽しい企画を立て、充実した生活を提供していきたいと思います。

（介護：堀井）

○お花見

今年のお花見は昨年にも行った曲田山と、施設のある中川原町内の2箇所にわけて、計3回行いました。

まず3日に曲田山に行きました。元気な人を中心に山を登り、桜と洲本の景色を観ながらおいしいお団子をいただきました。

▲職員と一緒にパンづくり。

入所者の皆さんが作られたパンとバターは翌日の朝食においしくいただきました。

5日は施設の近くにある中川原小学校へ行きました。入所者の中には元気に小学校まで歩いていき、桜を楽しむだけでなく、ブランコに乗って遊ぶ方もいらっしゃいました。

10日は雨のため中止となり、最終日の13日は中川原中学校へ行きました。

▲目の前の中学校だから、車椅子でもお花見ができてうれしいね。

この頃になると新しい葉が混じりながらも、まだ花は咲いており、風にふかれて散る桜もきれいでした。

場所を提供くださった中川原小学校、中学校の皆様、ありがとうございました。

▲花より団子？いえいえ、花があるからよけいにおいしいんです。

▲童心に返ってブランコ乗り

2008 年度　淡路ふくろうの郷　事業計画

2008 年度は社会福祉制度の見直しが進められる年であり、高齢者福祉を取り巻く状況は課題が山積みになっています。そんな中でも、淡路ふくろうの郷では、運営理念である「人権の尊重」と「地域との共生」の実現を目指して事業運営を進めてまいります。

淡路ふくろうの郷　2008年度年度予算

（単位：千円）

収入	寄付金収入	3,600
	助成金	7,200
	介護保険料・利用者収入	297,800
	雑収入	3,692
	経常収入計	312,292
支出	人件費支出	206,210
	事務費支出	21,660
	事業費支出	47,414
	借入金利息支出	6,500
	経常支出計	281,784
経常活動資金収支差額		30,508

【入所者・利用者の処遇の向上】

① 職員体制

職員にとって働きやすい職場であることが、入所者・利用者の処遇の改善につながるとの立場から、経営的に可能な範囲で適切な職員体制に勤めます。

② 食の安全強化

基本的に冷凍食品の使用を中止し、食材としては地域の農産魚介類を中心的に使用することによって、安全でおいしい食生活をめざします。それに伴って生じる支出増を加味し、適正な収支バランスが保てるよう経営分析に努めます。

③ 職員研修の強化

理念・知識・技術の3拍子揃った質の高い職員の養成に努めます。

とりわけ、基本理念の「人権」並びに法人の目指す社会福祉と社会保障の実現と問題、展望等を学ぶことにより、人間性の豊かな介護福祉職員像を目指します。

④ 軽度者・待機者のニーズの促進

軽度者のニーズの尊重、待機者への利用促進を図るため、ケアハウス・デイサービス・訪問介護・居宅支援事業所等への整備の検討を行います。

【地域福祉の拠点としての事業活動】

① 第3回ふくろうふれ愛まつりの開催

地域のまつりとして定着しつつあるふくろうふれ愛まつりを、今年も10月26日（日）に開催します。

② 中川原地域「淡路ふくろうの郷地域交流会」との連携

地域との連携、交流の要として、昨年1月に「淡路ふくろうの郷地域交流会」が結成されました。

事業内容は次のとおりです。

・手話講座の開催（月2回）
・郷土芸能グループとの交流
・かかしコンクールの開催
・趣味の講座の開催（年7回）
・田植え、たけのこ掘りなど、地域行事への参加

③ ボランティアの受入れ・連携

昨年度は地域で共に生き、学ぶ仲間として延べ300人ものボランティアの皆さんに支えていただきました

今年度も引き続き、ふくろう理髪店、ふくろう大学（書道・農業・釣り・芸術等）の講師、買い物や図書館などへの外出、盲ろう者の話し相手等、支援をお願いします。

淡路ふくろうの郷　地域交流会
手話教室のお知らせ

毎月第2・4土曜日だよ！

淡路ふくろうの郷で手話教室をします。
講師はふくろうの郷の職員・入所者です。
参加費：1,500 円（テキスト代含む）
開講式：5月10日（土）　13:30～15:30

＜お問い合わせ＞

淡路ふくろうの郷　担当：森岡
TEL：0799-25-8550
FAX：0799-25-8551